

つながる力 地域づくり交流会 vol.2with 上田未来会議

=地域づくりのDNA・キラリ人大集合=

2025.1.26(日)・サントミュージゼ小ホール

主催:地域づくりネットワーク長野県協議会上田支部・長野県上田地域振興局、共催:上田市



司会:長野大学 MIZUMATCHI サークル(牧野さん・平川さん)

主催者あいさつ:地域づくりネットワーク長野県協議会上田支部会長 竹内充

=キラリ人 プレゼン=

<第1グループ>No1 「柳町観光振興会」池松勇樹さん

No2 「上田街角写真部」野々村奈緒美さん

No3 「真田ゆめぐる project/ミリグラム(株)」間藤まりのさん

No4 「信州たけしのロマンと魅力を掘り起こし発展させる会」江口達夫さん

No5 「合同会社ナワメ社」上野琉花さん

<第2グループ>No6 「NPO 法人 場作りネット」秋山紅葉さん

No7 「うえだ子どもシネマクラブ」直井 恵さん

No8 「チャイルドラインうえだ」茅野浩恵さん

No9 「信州上田おかみの森がっこ」関 佳澄さん

No10 「めたちゃ。」吉池由美さん

<第3グループ>No11 「信州上田物産館「UEDA Nerima BASE」」萩原潤さん・平野亮さん

No12 「(一社)グローバルリソースセンター」大森美和さん

No13 「(株)筒けん」清水 悟さん

No14 「信州おとのわプロジェクト」高木夏子さん

No15 「自由大学運動 100 年記念フォーラム実行委員会」小平千文さん

プレゼン「第1グループ」

①柳町観光振興会 池松勇樹さん

柳町は、350年の歴史を誇る酒蔵「岡崎酒造」や、信州味噌の蔵元「武田味噌」、信州蕎麦の人気店「おお西」、業界でも一目置かれる天然酵母のパン屋「ルヴァン」など、有名なお店がたくさんある。

現在、柳町観光振興会の取り組みで、柳町には年間1000台を超えるバス観光が訪れ賑わいを見せている。長野大学の学生ボランティアガイドなど、現在そしてこれからの取り組みを紹介



②上田街角写真部 野々村奈緒美さん

上田市の文化や景観を記録・発信する団体。地域の魅力や歴史を次世代に伝えることを目指し活動。

2024年度には、「上田街角百景」リストの作成や歴史を学ぶ街歩き、プロ写真家との撮影会など、写真を通じて地域の魅力を楽しむ企画を実施した内容を紹介



③真田ゆめぐる project./ミリグラム株式会社

間藤まりのさん

真田エリアで、日々の暮らしにたのしいことを増やすべく活動している。設立は2016年。何度かメンバーの入れ替えをしつつ「さとのわマルシェ」等の企画運営。また、ミリグラム株式会社は、2019年設立、長野県を拠点に公民連携エージェントとして県内外で事業を展開する会社。上田市では2024年に「旧新鮮市」のトライアルサウンディングに参加し、学生や地域の団体、企業、個人等と一緒に場のあり方を模索中。活動紹介



④信州たけしのロマンと魅力を掘り起こし発展させる会

江口達夫さん

地域の貴重な歴史と文化等を掘り起こし、地域住民が一体となって武石地域の魅力をやさしいおもてなしの心で県内外からの観光客等の誘客を推進することにより、武石の活性化を図ることを目的として活動。昨年度は、長野大学松下ゼミによる『武石のことめた好きになる夢プログラム 15 選』から、観光振興に向けた体験プログラムを実施。最近の巣栗渓谷でのトレッキングイベント等を紹介



⑤ナワメ社 上野琉花(るか)さん

長和町を拠点に、「自分らしい生き方」を実現する手段として、地域とのさまざまな関わりしるを提案。人と地域との関係性にはグラデーションがあっていいと考え、その人と地域とをつなぐお手伝い、シェアハウスの運営や住まいのマッチング、好きなことを仕事にするナリワイづくり支援などを展開。目指すのは、そこに暮らす人々が、仕事も娯楽も暮らしもコミュニティも、そこそこ満足に得られるまち。ヒトやモノをつなぐ、地域の「縄目」という考え方や活動紹介



プレゼン「第2グループ」

⑥NPO 法人場作りネット 秋山紅葉(くれは)さん

相談支援を通して聴こえてきた声に耳を澄まし、海野町商店街の劇場で駆け込み宿「やどかりハウス」を開いたり、そこに家出してきた人が古本屋で店番をしたり、映画館で対話をしたり、街中をパレードして歩いたりするという場作りを通して、人々のあいだの出会い直しを生み、社会を考え合ったり作っていく力を自分たちの手に取り戻していくための活動をしている。取り組みを紹介



⑦うえだ子どもシネマクラブ 直井 恵さん

学校に行きにくい・行かない子どもたちの新たな「居場所」として映画館を活用する取り組み。中間支援 NPO アイダオと上田映劇の協働事業として取り組んでいる。学校や家庭だけでなく、地域の中で子どもたちがワクワクする体験に出会い、世界の不思議と出会い、学ぶことや生きることの楽しさに出会えることを願いながら、月2回上映会や映画を通じた新しい学びの機会創出、平日シネマクラブなどさまざまな活動を紹介



⑧チャイルドラインうえだ 茅野浩恵さん

チャイルドラインは18歳までのこどもたちの話を聴く活動。全国40都道府県69団体が交代で毎日16時から21時まで活動中。「チャイルドラインうえだ」は、2006年10月に開局。受け手養成講座を修了したボランティアが対応。子どもの気持ちに寄り添い「聴く」ことの大切さと子どもたちの置かれている現状を社会に伝えることを大きなミッションとしている。活動や課題を紹介



⑨信州上田おかみの森がっこ 関 佳澄さん

2023年9月、自然くらし子育てをたのしみあじわいおもしろがること、五感を通じて対話を深め合うこと、みんなが自分事として関わり合ってゆけるコミュニティ構築を思い描いて、主に子育て中の母たちが中心に立ち上げた。平日昼間の子どもと大人の暮らしあそび学ぶ場“おかみの森がっこ”、妊婦さんから親子の集まり“石ころの会”を里山の自然と暮らしの中で開催。活動を紹介



⑩めたちゃ。吉池由美さん

公民館を利用して、2024年3月から始まったばかり団体。地域にある公民館より小さい規模の30軒が利用している常会所でお茶会。お茶会から何かが生まれ、何かが始まるそんなことを感じるこのできた10ヶ月。「めた」は英語の[meta](と超越した)と「ちゃ。」(とお茶)を合わせた造語。若い世代からシニア世代など幅広い方に利用して頂けるよう名付けた。地域への想いを伝えた。



プレゼン「第3グループ」

⑪信州上田物産館 UEDA Nerima BASE

萩原潤さん(右側)・平野亮さん(左側)

友好都市である上田市と練馬区をつなぐアンテナショップ。2022年10月に練馬区石神井にて開業し、2024年10月に西武池袋線江古田駅に移転オープン。上田市のりんご等の生鮮品や、味噌や蕎麦、日本酒等の様々な名産品を取り揃えて販売。上田市の魅力を広く伝え、上田市への人の流れを増やすことを目的とした情報発信拠点を目指し活動



⑫一般社団法人 グローカル・リソース・センター(GRC)

大森美和さん

地域の魅力を世界に発信し、地域企業と若者の出会いを創出するなど、地域と世界をつなぐ活動を展開する。未来を担う人材育成や地域資源の活用を通じて、地域の成長と発展に貢献することを目指す。GRCの取り組みは、国境を超えて人々をつなぎ、新たな価値を生み出すことで、地域の可能性を広げることを目指す。



⑬(株)筒けん／筒けん考案者 清水 悟さん

「筒けん」は砂の入った玉と筒を組み合わせて楽しむ、上田市発祥のニュースポーツ&スキルトイ。年齢や体力に関係なく楽しめるため、家族や友人とのコミュニケーションツールとしても注目されている。全国から参加者が集まる「筒けんフェスティバル」も今年で第3回目。夢は上田市から世界へ。楽しみながら健康促進やコミュニケーションを育むひとつの形として筒けんの魅力と取り組みを紹介



⑭信州おとのわプロジェクト 高木夏子さん

音楽家と地域をつなぐプラットフォームとして、2024年3月に発足。音楽は自分らしさを取り戻す場所であり、人と人をつなぐツール。日常に音楽があふれる「衣食住音」の世界観の下、音楽を通して「平和で自分らしく生きることを肯定できる社会づくり」を目指す。音楽家の活躍の場を増やすことの重要性、音楽でどのような地域貢献ができるかについて伝えた。



⑮自由大学運動 100 年記念フォーラム実行委員会

小平千文さん

1921年11月1日、「全ての人が生涯にわたって学び学び合える教育環境作り」を目指して、ここ上田小県地域で発足したのが信濃(上田)自由大学。現在の社会教育の先駆けとなる教育機関として高く評価されている。1921年から敗戦前後まで断続的に開講され、県内外へと広まった運動。発足から100年目の2021年に「現代版自由大学」の復活・継続を目指して発足した。現在の活動紹介



= 全員交流会 =



★全員交流会では、2024 上田未来会議の第2グループ「大学生が地域で活動すること」の皆が、「地域で活躍したい大学生が名刺代わりに所持自己PRする際に活用する」ツールとして考え提案された「プロフィールカード」(右図)を使って交流。イメージは、世界に1枚しかない「大きな名刺」。交流会の際、相手とカードを交換して自己紹介。最後はお互いに右上にサイン。相手の了解がもらえたら写メに撮ってもOK。交流に有効と好評でした。

プロフィールカード

名前・ニックネーム	サイン欄 お互いにサインをご記入ください。
団体名・ご所属	
活かしたい経験・スキル	最近気になること
	協力・連携できる分野、活動

最後に行われる全員交流会で使用します。それまでにご記入ください。交流時間は1回5分ほどです。

= 企画運営 = (敬称略)

主催共催者の他、上田未来会議参加者、長野大学 MIZUMATCHI サークル、長野大学学生有志、「かりがね福祉会 OIDEYO ハウス」他による交流会実行委員会
 当日フロア係：長野大学学生有志：中島冬陽、斎藤直、白木登唯、滝澤東治、釣谷拓未
 全員交流会司会：長野大学学生有志：宮本文瑠

